

風土に根ざした街へ

カジノ誘致の撤回求める

立憲民主党・民権クラブ 県議会議員 きしへ 都

林市長は8月22日、横浜へのカジノ誘致を記者会見において表明しました。これまでIR、カジノについては白紙といつてきました横浜市が一転したことになります。立憲民主党はギャンブル依存症を拡大させるなど、社会コストが生じるカジノ解

禁は認めないとのこと を政策に掲げてきました。多くの不安と反対の声が市民にあることを知りながら一方的に「白紙」を撤回し、「横浜は山下ふ頭へのカジノ誘致を決めた」と表明した市の姿勢は民意を見誤っています。

市はこれまで、立憲民

主党の議員が属する会派が主張してきたハーバーリゾート構想等のカジノに代わる市民のアイデア・意見の検討を実施していません。今回、市会への説明も経ず、突然、市の未来を大きく左右する重大な政策決定を表明したことには、議会軽視と言わざるを得ません。

カジノは現在既に全国民の3・6%も患者がいることから、厚生労働省が推定するギャンブル依存症を新たに生み出す施設となり、せください。

横浜へのカジノ誘致の撤回を強く求めるとともに、地域の声、住民の声を聞き、その声に応えることを求めていきます。



みなさまからのご意見、ご要望をお待ちしています

きしへ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

治安悪化や青少年の健全な育成へ悪影響を及ぼす懸念が絶えないものです。また、世界ではカジノが付帯するIR運営には失敗例もある中で、カジノ経営の安定性には定量的な根拠も示されておりず、事業継続性に確証が得られていくとは言えません。山下ふ頭の再開発については横浜の歴史文化と風土にふさわしい、さわやかな港の姿を模索していくべきです。